

外務省独立行政法人評価委員会
平成24年度業務実績評価における「評価のポイント」

平成25年3月21日
外務省独立行政法人評価委員会決定
(平成25年5月31日一部改訂)

分科会における事業効果に着目した「評価のポイント」

【国際交流基金】

1. 海外における日本語教育の拡充（「成長戦略」への取組を含む）
2. 「日米同盟深化のための日米交流強化」を目的とする事業の実施
3. 震災からの復興に資する事業の実施
4. 国際文化交流への理解と参画の促進に向けた取組

【JICA】

1. 成長戦略の実現
 - インフラ海外展開支援
 - 中小企業を含む官民連携
 - ミャンマー支援
2. 人間の安全保障の視点を踏まえた援助と新たな開発課題への取組
 - 保健・教育分野等ミレニアム開発目標（MDGs）の実現に向けた支援
 - 対アフリカ支援（TICAD）
3. 世界の防災への貢献
 - 国際社会における防災能力強化、防災の主流化への貢献
4. 国際社会の平和と安定のための取組
 - テロ・海賊対策
 - 平和、民主主義の定着支援（含・アフガニスタン）
5. 多様な関係者との連携強化と援助の担い手の拡大

コンプライアンス部会における「評価のポイント」

1. 保有資産の管理・運用等

(1) 実物資産

関係閣議決定※のフォローアップ状況、職員宿舎の見直し状況など

※「独立行政法人の事務事業の見直しの基本方針」（平成22年12月。以下同じ。）

(2) 金融資産

国際交流基金の運用資産（特に外貨建て債券）の運用・監理について

2. 内部統制

法人内の内部統制体制の機能状況、監事監査結果への対応状況※、法人にとって優先的に対応すべき重要な課題（リスク）の把握・対応状況など

※ 政独委から各府省評価委員会に対し、監事監査との連携（監事監査結果を踏まえた評価）を重視する姿勢が示されている。

3. 契約・調達

契約の点検・見直しの取組結果（「随意契約等見直し計画」や関係閣議決定のフォローアップ状況）

4. 人件費

（了）